

各種委員会の活動

育友会本部では各種委員会を設けて活動しています。
それぞれの活動内容を報告します。

スポーツ応援推進委員会

委員長 久保田亮示
(育友会副会長、ネット3父)



スポーツ応援推進委員会は常任役員と父母幹事の総勢11名の委員で専修大学のスポーツ選手を応援すべく活動しています。年に2回、仕事を終えた後、育友会本部に集まり、応援種目を決定したり、多くのご父母に参加いただく箱根駅伝予選会の応援場所や入場チケットの配布の段取り、役割分担などを決めています。また、育友会ホームページにスポーツ応援サイトを設置し、応援情報をタイムリーにお届けしています。

今年度は9月にアメリカンフットボール部、10月に箱根駅伝予選会、11月に国技館で相撲部などの応援を行いました。場所や時間を考慮し、できる限り多く行けるように種目を選定しています。そして夏には委員会の公式な活動とは別に、有志数名で陸上競技部の菅平合宿を訪ねました。選手たちが懸命に努力する姿が見られ、話をする機会もありました。その選手達が予選会を必死に走



↑アメフト部応援
←相撲部応援



る姿を見てとても感動しました。

大きな声を出して学生たちを応援すると不思議と元気になります。多くの会場で応援団も一生懸命に応援を盛り上げてくれています。皆様と一緒に楽しく応援していきたいと思います。

アメフト部応援記

BIG8第1節 9月9日(日) 対桜美林大学
アミノバイタルフィールド 18:00 キックオフ



遠かったゴールライン…、でも感動!

堀井廣継
(父母幹事、文2父)



今年度の初回応援はアメリカンフットボール。個人的には年始に行われるアメフト日本一決戦のライスボウルを遠くの客席から数回観たくらいで、実はルールも詳しくありませんし、関心が高いわけではありませんでした。

でも試合が始まり専大チーム選手を目で追っていると、いつの間にかテンション高揚。たくましい体の選手達が激突しながら、瞬時のチャンスで機敏に走り、パスし、倒れる姿はアメフトならではの迫力で熱の入る応援となりました。我が専大は、なかなかゴールできない苦しい展開でしたが、応援の気持ちは緩むことなく熱い時間でした。次の勝利を楽しみに応援していきます!

迫力あるタックルやランプレーに興奮

岩崎佳子
(父母幹事、経営4母)



関東学生1部リーグBIG8に復帰した専大秋季リーグ戦、初戦。桜美林大との試合を応援させていただきました。迫力あるタックルやランプレーに大興奮。全学応援団との掛け声も、スティックバルーンの音も高鳴ります。試合は好タックルや華麗なパスで相手を阻むも、リードを許して前半終了。「得点シーンが見たい!」と思った後半、見事なロングパスを成功させ、専大が待望のタッチダウン。結果は敗戦でしたが、粘り強く攻撃する選手たちの雄姿にたくさんの感動をいただきました。上を目指して…専大アメフト部 GREEN MACHINE、これからも応援しています。

一筋の光、駆け抜けた専大

奥田千穂子
(父母幹事、商3母)



2度目のアメフト応援。少しはルールを覚え、応援団と共にGo Green Machine!と声を送る。4kgはあるという防具を身に纏い、フィールドを駆け回り、ぶつかり合う。どんな感覚なんだろう?試合はなかなかパスが通らず、進めず、格上の桜美林大が点を積み上げていく。ジリジリした思い、ああと言う声、そしてGo Defense 一辺倒の応援に眠くなりかけた時…一筋の光～ライトに照らされた専大のユニフォームが駆け抜けて行った。断トツの速さ、そしてタッチダウン!!鮮やかなプレーに応援席も大興奮!選手の諦めない気持ちに感動した夜となった。

鳳祭参加企画「お休み処・育友」委員会

委員長 半田千賀子
(育友会副会長、経済3母)



創立139年専修大学鳳祭開催期間中の2日間、今年も育友会参加企画「お休み処・育友」を出店いたしました。どなたにでもご利用いただける休憩所として、無料でお飲み物とお菓子を提供。展示スペースでは育友会のスポーツ応援活動と、今年創立60周年を迎えた育友会を会報『育友』で振り返る展示をいたしました。

祝日に加えお天気にも恵まれた初日は、用意したお菓子が閉店時間を待たずに終了してしまう程の大盛況。マジックサークルに各テーブルでご披露いただいたパフォーマンスは今年も大好評でした。キャンパス内を練り歩いてジャンケンを行い、勝った方に鳳祭の模擬店で使用できるチケットをプレゼントする“ジャンケン大会”を実施。育友会のPRと鳳祭参加サークルへの援助を目的とした企画でしたが、ジャンケン担当者が企画を楽しみながら参加してくださいました。

事前より共に協議を重ねた委員会の皆様をはじめ、ご協力いただいた本部役員、関係者の皆様に厚く御礼申し



↑ 鳳祭のジャンケン大会

← 「お休み処・育友」での展示

上げます。「お休み処・育友」は、来年も出店を予定しております。鳳祭にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(8頁に関連記事)

会報『育友』編集委員会

委員長 野口和紀
(育友会副会長、法3父)



会報『育友』編集委員会は、その名の通り、育友会員である保護者のお手元に年に4回届く冊子を編集する委員会です。育友会事務局の多大なるご協力を得て、今年度は常任役員と父母幹事の総勢9名で担当しております。

今年度の育友会は、佐々木悟会長の下、「学生には自信を、保護者には安心を」をモットーに、『育友』ではそれを体現すべく、学生の関心や挑戦、ゼミ活動やサークル活動などを生き活きとした写真とともに、読みやすくご報告することを心がけております。また、社会で活躍する卒業生をご紹介します、専大生を持つ様々な可能性や多様な進路の一端にも触れていただいております。さらに、各支部の活動に一人でも多くの会員にご参加いただけるよう、魅力的な支部活動もご紹介しております。

委員会では、事務局の提案をベースに、保護者の視点から時宜にかなったトピックの掲載の提案などをしております。今年度の『育友』では、「編集後記」と「読者の声」へのご回答を編集委員が持ち回りで担当し、会報作成へのコ



↑ 編集会議で意見を出し合う

← 『育友』155号、スポーツチャンバラサークル鳳剣会の取材に同行する野口委員長(左から2人目)

ミットの度合いを今まで以上に高めておりますので、こちらもご注目ください。